

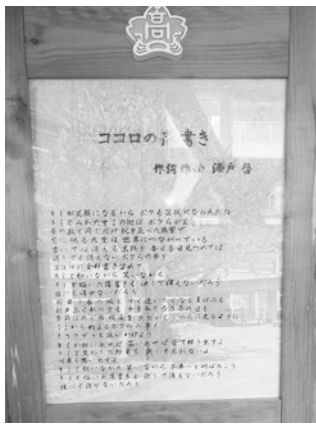
## ココロの落書き

作詞・作曲：漆戸 啓

キミが笑顔になるから ボクも笑顔になるんだね  
キミとみわたすこの街は ボクらが生きる街  
夢の数と同じだけ 机を並べた教室で  
窓に映る大空は 世界につながってる  
書いては消える 黒板を 毎日毎日見つめては  
消しても消えないボクらの夢を ココロに全部書き留めて  
キミと歌いながら 笑いながら 未来へと羽ばたこう  
キミと描いた落書きも 決して消えないだろう  
誰にも消せないだろう  
桜舞う春の風も すぐ逢いたくなる夏休みも  
歌声高く秋の空も 手を取り合う冬の日も  
季節はめぐる 校庭を ただぐむしやりに走るように  
ここから始まるボクらの夢を そうさずっと追いかけてよう  
・・・(略)・・・



▲夢が実現した「カズン」と全校生徒の合唱  
PTA新聞 (H24年12月号)



▲毛筆による歌詞が高浜小学校の廊下に掲げられている。

## 高浜小学校 『ココロの落書き』

高浜小学校には、校歌のほかにも歌い継いでいる歌『ココロの落書き』がある。

この歌は、『冬のファンタジー』などの曲で知られる“カズン”(いとこ土によるデュオ)の、<sup>うしどひし</sup>漆戸啓さんの作詞・作曲で平成26年に作られた。

当時、高浜小学校の校長であった鳥居優子さんは、「数年前から朝の会や全校集会などで“カズン”の『ひまわり』や『僕が君から借りたもの』を歌っていました。一生懸命歌う子どもたちの姿を保護者にも観ていただけるようにと音楽会を開催するなか、平成24年には、たかはま夢・未来塾とPTAの協力を得て“カズン”のお二人を招いたコンサートを開くことができました。高浜小学校の広い体育館いっぱいにはすてきなハーモニーが響きわたり、とても感動しました。」と振り返る。

それが縁となり、翌年に当時の6年生が卒業前に「校歌のほかに、学校で歌い継がれる歌を残したい。」と学校を通じて“カズン”に依頼した。そして、6年生児童たちがどんな思いを込めたいかを伝え、学校生活や未来への思いが歌詞に詰まった、口ずさみやすく心にしみ入る曲ができあがった。完成したばかりの『ココロの落書き』は、卒業式で6年生が披露し、小中学校音楽会などで歌えるように三部合唱用の楽譜も“カズン”により作られた。

この歌は、今も卒業式などで大切に歌い継がれている。

## “撮っておき” の たかはま 【第78回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとっておきの「お宝」を紹介します。

## LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

広報たかはま  
編集・発行／高浜市役所総合政策グループ

〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2  
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110  
<http://www.city.takahama.lg.jp/>  
電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。